

**令和7年第3回壬生町議会定例会  
閉会中の継続調査報告書  
(教育民生常任委員会)**

## 教育民生常任委員会 閉会中の継続調査委員長報告

教育民生常任委員会に係る閉会中の継続調査結果をご報告申し上げます。

令和7年第2回壬生町議会定例会において、閉会中の継続調査といたしました「総合運動場の施設の現状と利用状況」について、令和7年4月24日、5月29日の2日間にわたり全委員出席のもと調査しました経過と結果をご報告申し上げます。

総合運動場のスポーツ施設は、昭和49年に建設された体育館をはじめ、多くが老朽化しています。将来の町のスポーツ振興の方向性を検討するため、町のスポーツ施設の現状と利用状況について、所管委員会による調査を行いました。

まず、調査事項についての説明を受け、次にその説明に対する質疑応答が行われ、その後、総合運動場のスポーツ施設（テニスコート、グラウンド、武道館、体育館、管理棟）の視察が行われ、最後に調査事項全体の質疑応答が行われました。

委員からの「年間の修繕費はどの程度かかっているのか。」という質問に対し、

「令和6年度の修繕の予算は277万3000円です。令和7年度は武道館の雨漏り工事、グラウンド東側の防球ネットの修繕、クビアカツヤカミキリ被害の桜の木の伐採等の工事があり、合計で1000万円強となっています。」との説明を受けました。

また、委員からの「武道館の床の張替え修繕について、どのような内容なのか。」との質問に対し、

「割れた床板を1枚交換するとともに、その周辺の浮き上がりやダボという床板を固定する木の杭を調整します。」との説明を受けました。

また、委員からの「体育館の空調の整備状況は。また、これからの予定は。」との質問に対し、

「総合運動場で空調が整備されている施設は、管理棟、体育館の事務室、ボルダリングルームです。体育館全体の空調を整備する場合には、空調の設置以外にも断熱の工事等が必要になると考えられます。体育館の今後の予定が決まっていない中で、空調の整備について検討できない状況です。」との説明を受けました。

また、委員からの「体育館利用者からの空調整備の要望はあるのか。」との質問に対し、

「令和6年の夏、空調整備の要望が多くありました。令和6年度から運用方法を変更し、国の熱中症指数で危険となった時に、利用者の判断により中止する場合には、返金するよう対応を変更しています。」との説明を受けました。

また、委員からの「各施設のトイレの洋式化はされているのか。」との質問に対し、

「和式トイレは体育館の男子トイレに1つと女子トイレに1つあります。その他の施設、武道館、管理棟、屋外、南部運動場、北部運動場のトイレは洋式化されています。」との説明を受けました。

また、委員からの「施設の修繕や整備について、スポーツ振興課として実施したいことは。また、利用者からはどのような要望があるのか。」との質問に対し、

「修繕したいところは令和7年度の予算に計上した武道館の雨漏りも含め多くあります。利用者からの要望では、テニスコートの人工芝の張替え等があります。全面を張替える場合には6000万円ほどの整備費が必要となる見込みです。その他、弓道場に遠的の施設の整備、専用の野球場の整備、体育館の床の修繕、バスケットボールの新ルールにより変更となったフリースローライン等の書き換え、管理棟の床の修繕、遮光カーテンの設置等の要望がありました。」との説明を受けました。

また、委員からの「大規模修繕、建替え等、執行部として考えている計画はあるのか。」との質問に対し、

「栃木県内外の新規整備の施設、改修した施設を研究したうえで計画する必要があると考えています。スポーツ施設としてだけでなく防災施設としても考え、補助金等についても調査した上で計画を立てることを考えています。また、重要施策等の中で、令和7年度か令和8年度頃には基本調査を実施し、令和9年度か令和10年度頃に基本構想を作り、整備時期についても決めていく必要があると考えています。」との説明を受けました。

また、委員からの「施設管理について、職員の業務内容は。」との質問に対し、

「一般事務の職員が、施設の管理業務をしています。テニスコート等は専門の技術者が管理すれば、よりよい環境になると考えます。しかし、費用対効果の面で、一般事務の職員が管理業務を行う必要がある状況です。令和7年度から毎週月曜が原則休館となり、管理業務の時間ができ、また、用務員が1名増員となりグラウンド整備等の作業を行っています。」との説明を受けました。

また、委員からの「南部運動場の利用されていないテニスコートの今後の予定は。」との質問に対し、

「利用できるように整備した場合、課題は管理ということになります。職員が常駐するか、施設はどうするか、ICT化するかなどが考えられますが、今後スポーツゾーン全体として検討し、どのような施設が必要であるか考えていきます。」との説明を受けました。

また、委員からの「施設の予約について、優先となる団体や、予約方法の詳細は。」との質問に対し、

「スポーツ協会所属団体による大会や役場のイベント等を年間計画の提出により優先しています。その後、ゆうがおスポーツクラブやスポーツ協会のイベントの仮予約により1年間のスケジュールを決定します。その後、事前登録の団体による予約を優先し、最後に、町内外関係なく一般の予約を一斉に受け付けています。」との説明を受けました。

また、委員から「施設を視察し、老朽化が深刻であると実感した。整備には相当な費用を要するため、改修や建替え等の方針を早急に決定し、計画を作る必要があると考える。その際には利用者に喜んでもらえる施設にしてほしいと考えている。」との意見がありました。

以上、教育民生常任委員会の閉会中の継続調査結果報告とさせていただきます。

令和7年6月3日

教育民生常任委員会  
委員長 中川和典